
すべては来世のために...

アクア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すべては来世のために…

【Nコード】

N5569P

【作者名】

アクア

【あらすじ】

車に引かれ、死後の世界に行った主人公ユウキは、来世のために、ファンタジーの世界みたいな天国で、ポイント稼ぎに奮闘する！オカマ神に気に入られ、付けてもらったチート能力で大暴れ！！

逝っちゃったぜ あの世へ(前書き)

頑張って書きました。

逝っちゃったぜ あの世へ

「……………ううっ…」

気がつくとおれは、なにもない真っ白な空間にいた。

「どこだよ…ここ」

確かおれは学校に行く途中に車に引かれて……

そこから記憶がない。

ここ天国かあ?? ははあつ地獄じゃなくてよかったぜ。

なんて呑気な事を考えていると……

「はあ~~~~~い」

後ろからオカマのような声が聞こえてきた。

「あなた…誰??」

振り向くと女神様の格好をした中年親父が立っていた。

「あたしい?? あたしは、め・が・みよお」

「うそつけ!?!?!」

脇腹におもいつき蹴りをいれてやった。

「いたあーい。なにすんのよお」

「正直にこたえな。じゃないと…GO TO 天国だぜ？」

「なんで天国が英語じゃないのよ。」

「わからねーんだよ！！細かい事にすんな。」

「わかったわよ」

二人の間に沈黙が流れる

……

……

……

しばらくしてオカマが口を開いた。

「だいたい、ここはもう天国よ？」

「あつそうなの？オレ死んだのか？」

「あなたは車に引かれて死んだわ。あと、厳密に言えば此処は現世と死の世界の狭間ね。」

オカマは説明を続ける

「で、私は死後の世界を管理する言わば神ね」

「あんだみたいなヤツが神とは………この世界も終わりだな」

「失礼ねっ！！とにかく、あなたにこれからどうなるかを説明するわ」

ふと疑問が浮かびあがった。

「え？このまま魂だけ残って、天国で暮らすんじゃないのか？？」

オカマが顔の前でチツチツチと指をうごかした。

「違うわ。確かに天国には行くけど、普通に暮らすんじゃないくて、ファンタジーの世界みたいな生活を送ってもらうの。」

え？意味がわからない……

オカマの長い説明が始まった。

逝っちゃったぜ あの世へ(後書き)

もっと文章力が欲しい!!!

オカマに気に入られ…（前書き）

小説書くのは難しいです。でも頑張ります！

オカマに気に入られ…

「つまりまとめると……」

天国には、モンスターがいたり、魔法が使えたりして、ほぼファンタジーの世界と変わらない。

天国にはポイントが存在しており、通貨として使われている。そしてそのポイントを貯めれば、来世の死にかた、職業、顔など自分で決めることができ、来世を有利に楽しく生きることが可能。

ポイントは良いことをすれば上がり、悪いことをすると没収されてしまう。

「こんなところか??」

「そうよぉー。よくできたわぁ。」

「良いこととしてポイント貯めればいいわけだ。」

「まあそんなところねえ。てゆうか……」

オカマがこちらをマジマジと見つめてくる。

「可愛い顔してるわねえー。私好みだわぁ　あなたの事もっと教えて〜」

「ミツルギユウキ密留偽侑希だ。年は17」

今にも吐きそうになる寒気を堪えながら答える。

「いい名前じゃない。いいわ！貴方可愛いから特別サービスしちゃうわ」

特別サービス？？

「貴方に反則な能力^{チート}をあげちゃうわ！！」

チートって言うっちゃうのな。

「チート能力てなんだ？？」

「頭に思い浮かべたことなんでもできる。自由に武器を作れる。とかね」

チートすぎだなおい。

「とにかくこの能力あれば最強よん！！頑張つてね」

「イロイロありがとさん」

「はい、じゃあ目を閉じてえ……………」

言われたまま目を閉じる。今から始まる生活に胸をトキメカせながら……………」

「3……………2……………1……………ハイ！！！！！！」

次に目を開けたときには、目の前に草原が広がっていた。

オカマに気に入られ…（後書き）

さあこれからユウキ君の旅の始まり始まり〜

チートな力（前書き）

作者「難しい…！感想書いてくれるとアホみたいに喜びます！」

ユウキ「本当にズサンな文章力だよな…」

作者「うるせえ！」

チートな力

ドゴオン!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

.....嘘だろ

「ははは... 確かにこれはチートだな...」

こんな能力を気に入っただけで与えるなんて不信心すぎる...

オレは今、だだっ広い草原に立っている。

んでオカマ神から貰った力を試すために、カメハメ波を撃ってみたんだが...

まさか本当に出るとはな...

死後の世界はなんでもありのようだ...

「深く考えてたらやってられない! とりあえず、近くの街に行ってみるか。」

こつして前向きに歩き始めたのだが.....

「いくらなんでも出るの早くないか?? もっ少しタイミングを考慮よな...」

目の前には見上げるほどの大きさのドラゴンがこちらを睨んでいた。

「本当にファンタジーみたいだな。」

チートな力（後書き）

ユウキ「もうちよう頑張れよ」

作者「無理だよ…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5569p/>

すべては来世のために...

2010年12月31日07時49分発行